

## 序章 調査の目的と方法

### 1. 調査の目的

#### (1) 調査の趣旨

瀬戸内海地域は、古くから人、文物の大陸交流や海運の大動脈として栄えた歴史を有し、近年においては、本四架橋などの社会資本も整備されてきたが、現状では内外の人々が行き交った大交流時代の面影はなく、新たな集客交流の場の創出が課題となっていることから、国と地域が連携して、環境負荷低減に配慮した集客施策を検討することで、京都議定書の義務遂行に貢献しつつ、「文物交流の場の“再生”」を目指すものである。

#### (2) 調査の目的

本調査は、地球環境と調和した広域集客交流やそれを支えるサービス産業の創出のあり方を探るため、ボトムアップによって地域単位の取組方策を積み上げ、瀬戸内海地域全体で広域的かつ効果的に活かしていくための具体的仕組み・手法を実践・検討し、全国展開に繋がるモデル手法を構築することを目的とする。

調査範囲は、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県の6県とする。

### 2. 調査の方法

#### (1) 各種基礎調査の実施…【第1章】

- 瀬戸内海観光の動向…統計分析等
- 瀬戸内海観光地の評価…ウェブアンケート調査
- 地域資源・新たな集客交流サービス調査…アンケート調査
- 宿泊施設における環境負荷低減の取組…優良事例調査
- スロートーリズムのニーズ調査…ウェブアンケート調査

#### (2) 地域からのスロートーリズムの創出…【第2章】

- 地域研究会の設置と運営…12地域で設置，ボトムアップ型による検討，合同会議開催
- スロートーリズムの評価…アンケート調査

#### (3) 社会実験(モニターツアー)の実施・評価…【第3章】

- 社会実験(モニターツアー)の実施と評価…モニターツアー実施，アンケート調査

#### (4) 環境負荷低減方策と効果の検証…【第4章】

- 環境負荷低減方策と計測手法の検討…環境専門部会を設置し検討
- 環境負荷低減効果の検証…計測，統計分析，推計

#### (5) スロートーリズムの資源とモデル手法の構築…【第5章】

- スロートーリズム資源の整理…パンフレット・ウェブコンテンツの作成
- モデル手法の構築…「スロートーリズムの手引き」の作成

(6) 瀬戸内海スローツーリズムの成果と今後の展開…【第6章】

○成果と今後の展開…とりまとめ

調査フロー

